

総合工学委員会・機械工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

1	所属委員会名	○ 総合工学委員会、機械工学委員
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	従来から様々な学会・協会・研究会で幅広く安全についての議論がおこなわれてきているが、安全技術はそれぞれの分野の知見と経験に深く根ざした個別的技術として発展し、他の分野の人からはなかなか窺い知れないところもある。しかし、各分野で開発、実現されている安全技術の共通する考え方を一般化、原則化することで他の分野の安全技術にも応用可能な道が開けるはずである。 第20期における検討を発展させ、安全には工学としての技術だけではなく、人文科学、社会科学が深く係わりあっていることを念頭に、「安全の理念」を体系化することを21期の分科会活動の目標とする。 この「安全の理念」をもととして、「安全目標（許容リスク）」の具体的な数値、「安全と安心のかかわり」の明確化および安全の総合的な取り組み方、「安全教育」の問題点および改善案等の項目について提案としてまとめる。 社会へ積極的に発信し世の中の安全向上へ寄与するために、長年実施してきた学協会の横断的な集まりである「安全工学シンポジウム」を主催していく。 また、20期に実施した小委員会活動「事故死傷者ゼロを目指すための科学的アプローチ検討」、「遺棄および老朽化学兵器の安全な廃棄技術」、「事故調査のあり方」小委員会を分科会の下に設置し具体的・詳細な検討を継続して行う。さらに必要を認めた場合は関連小委員会・WGを設置し機動的に審議を行う。
4	審議事項	1. 安全の理念の体系化 2. 安全目標・許容リスクの考え方 3. 安心・安全の総合的取り組み 4. 安全教育のあり方
5	設置期間	時限設置 年 月 日～ 年 月 日 常設
6	備考	